

竹原市収受
竹原第号
02.1.-9
年月日
公債記号
保存手帳

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

令和 2年 1月 9日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

堀越 賢二



視察・調査場	坂戸市議会・飯能市議会・東京インタープレイ社 ふるさと回帰支援センター・東京竹原会
期日	令和 1年11月15日 ~ 令和 1年11月17日
経費	37,496円
参加者氏名	大川弘雄・堀越賢二
視察・調査的目	坂戸市議会：タブレット端末導入に係る取り組みについて 飯能市議会：タブレット端末の活用について 東京IP社：アプリ活用と導入事例について ふるさと回帰支援センター：各市町の活動事例について 東京竹原会：東京在住者から見た竹原について
内容(視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>○タブレット導入に関しては、議員の熱量が重要であり、活用に関しては言うまでもなく、情報の共有が迅速かつ正確であり、内容についても紙媒体ではできない動画などで書かう人が出来る。災害時においては、平時より更にその活用は有効である。環境問題からみても効果的であり、印刷物を劇的に削減することが可能である。</p> <p>タブレット端末を効果的に活用することで、広報活動においてもより詳しく分かり易く市民に伝えることが可能になる。</p> <p>○日本全国の市町がPR合戦を繰り広げている。県職員の熱量も高く、ふるさとの活性化のため大きく貢献している。</p> <p>○東京在住者からはふるさとに寄せる想いが強く、元気な町でなっ欲しいとの事から具体的な提案もされた。</p>
効果・成果等	<p>タブレット端末導入にむけ好事例と費用削減の効果額の積算をし、財政健全化の一助にもなるというロジックの積み上げが必要であるため、部会において再検討し導入にむけた動きを加速させる。</p> <p>市場の状況にしっかりとアンテナを張り、今何が必要とされているのかを民間企業や市民と連携をすることが必要である。</p> <p>遠く離れたふるさとに対する思いは色褪せることが無いものだと強く感じた。離れているからの視点は貴重なもので、我々は保守的にならず常に俯瞰的に物事を捉える必要があり、提言をしっかり受け止め対応していく必要がある。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。